プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年9月8日		
号機	7	件名	主発電機軸受付近からの潤滑油漏えいについて（区分：Ⅲ）

①

【事象の発生】
・2026年9月7日午前10時15分頃、7号機タービン建屋2階の主発電機エリアにて、主タービンの油系ポンプを起動したところ、主タービンの発電機側軸受の軸振動計を取り外した開口部から、潤滑油が漏えい（約20L）していることを確認しました。
・そのため、油系ポンプを停止し、午前10時18分に漏えいは止まっております。
・漏れた潤滑油はすでに拭き取りを行っており、当該エリア外への流出はなく、環境への影響はありません。
・なお、潤滑油の漏えいがあったことから、一般回線にて公設消防へ連絡しました。

【対応状況】
・油が漏えいした原因調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。

（2026年9月8日にお知らせ済み）

【原因】
・今回、主タービンの軸と主発電機の軸をつなげた状態で、長期停止による軸のたわみをより詳細に確認する作業を実施していました。
・その際、油系ポンプの起動時に、発電機側軸受の軸振動計を取り外す手順となっていたため、当該軸振動計を取り外した状態で、油系ポンプを起動したことにより、開口部から潤滑油が漏えいしたものです。

【対策】
・油系ポンプの起動時には、軸振動計を取り外さない手順に見直しを行ったうえで、軸振動計を取り外す必要がある場合には、開口部となる箇所を閉止する手順に見直しを行いました。

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年10月20日		
号機	2	件名	循環水ポンプ建屋におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

②

【事象の発生】
・2026年10月19日午前9時41分頃、2号機循環水ポンプ建屋にて、1号機の補機冷却海水ポンプの点検に従事していた協力企業作業員が、アルミ製の角材をトラックに積み込む際、荷台とアルミ製の角材の間に左手人差し指を挟み、出血しました。
・このため、午前10時18分に業務車にて医療機関へ搬送しました。
・本人に意識はありましたが、自力歩行は可能な状態でした。

【対応状況】
・医療機関での診察の結果「左示指末節骨開放骨折」と診断されました。
・今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

（2026年10月20日にお知らせ済み）

プレス公表（運転保守状況）

公表日	2026年11月11日		
号機	－	件名	大湊側屋外エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

③

【事象の発生】
・2026年11月10日午前11時30分頃、大湊側屋外エリアにて、モルタル注入作業に従事していた協力企業作業員が、
　モルタル注入ポンプの回転部に右手人差し指を挟んで負傷しました。
・このため、午後12時14分に業務車にて医療機関へ搬送しました。
・本人に意識はあり、自力歩行は可能な状態でした。

【対応状況】
・医療機関での診察の結果「右示指末節骨開放骨折」と診断されました。
・今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

（2026年11月11日にお知らせ済み）

（参考）プレス公表　継続対応件名リスト

号機	–	件名	モニタリングポストの一時的な測定データ表示不良について（区分：Ⅲ）	公表日	2025年1月27日
号機	–	件名	海水モニタ、モニタリングポスト等の一時的な測定データ表示不良について（区分：Ⅲ）	公表日	2025年2月28日
号機	4	件名	運転員専用入退域室の扉（管理区域境界扉）の未施錠について（区分：Ⅲ）	公表日	2026年8月12日
号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機（Ｂ）不具合による運転上の制限の逸脱からの復帰について（区分：Ⅱ）	公表日	2026年9月18日